

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
専門学校岡山情報ビジネス学院		昭和61年7月26日	学院長 三村 光	〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1番4号 ターミナルスクエア内 (電話) 086-224-2336			
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人 三友学園		昭和61年7月26日	理事長 池田 基熙	〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1番4号 ターミナルスクエア内 (電話) 086-224-2336			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
工業	工業専門課程	データマーケティング学科	平成15(2003)年度	-	平成28(2016)年度		
学科の目的	これからの時代、各企業においてビッグデータを活用した効率的な取り組みが必要不可欠になりつつある。データの分析スキルを学び、マーケティングの学習を通して、企業の問題発見、課題解決を行うことのできる人材を育成する。						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	【取得可能な資格】 マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS) ITパスポート試験 ビジネス統計スペシャリストエクセル分析ベーシック 日本商工会議所簿記検定 SNSマーケティング検定 他 【中退率】 17% 退学者7名(令和5年度 入学者含む) 初期在籍者数42名 卒業生含む期末在籍者数35名)						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,736 単位時間 単位	490 単位時間 単位	863 単位時間 単位	593 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)				
60人	41人	0人	0%				
就職等の状況	■卒業者数(C)		17	人			
	■就職希望者数(D)		17	人			
	■就職者数(E)		17	人			
	■地元就職者数(F)		8	人			
	■就職率(E/D)		100	%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		47	%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		100	%			
	■進学者数		0	人			
	■その他		なし				
	(令和5年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報)		■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 【業界】 小売、サービス、製造など 【就職先】 山崎製パン株式会社、株式会社ザグザグ、シーピー化成株式会社、株式会社湯山製作所、オージー技研株式会社 他				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 一般社団法人専門職高等教育 育質保証機構 受審年月: 平成31年2月 評価結果を掲載したホームページURL: https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf						
当該学科のホームページURL	https://www.oic-ok.ac.jp/						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)						
	総授業時数		1,946 単位時間				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		80 単位時間					
うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間					
うち必修授業時数		1,736 単位時間					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		80 単位時間					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		80 単位時間					
(B: 単位数による算定)							
総授業時数		単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位					
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位					
うち必修授業時数		単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		0人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		2人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		1人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人				
	計		3人				
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		1人					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ICT機器を活用して、より効率の良いビジネススタイルを提案できるレベルを目指し、様々な仕事に通じるデータ分析やマーケティングを主に学習する。学習内容を実務レベルで活本学科は就職先が幅広いことから、学生が様々な職場で活躍できるよう知識と技術、そして考える力を培い、それらを効果的に他者に伝えるプレゼンテーションの機会も用意する。プレゼンテーションは、学科内での実習に加え企業と連携することで、学生に多くの経験を積ませる。用するために、現代社会で必要とされるスキルと人間性について、実務に携わる企業の方の意見と本学科の意見とを随時照らし合わせながら、授業内容に反映し改善させる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

情報活用分野におけるICT機器の利活用、データ分析の分野において、提案・実践を行っている企業を委員とし、岡山情報ビジネス学院関係者を交えて構成された「教育課程編成委員会」を岡山情報ビジネス学院内に設置する。年間2回以上開催される委員会にて教育課程の編成に向けた意見・助言等を受けカリキュラム等の開設・改善・工夫等を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
久保田 浩二	特定非営利活動法人 ITC岡山 理事長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
真鍋 洋志	菅公学生服株式会社 取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	③
荒木 穂積	Gateシステムズ株式会社 経営管理室	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
菅原 洋介	専門学校 岡山情報ビジネス学院 教務課長補佐(医療・公務員学科群)	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	—
鳴坂 圭介	専門学校 岡山情報ビジネス学院 データマーケター学科学科長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年9月5日 16:00～18:00

第2回 令和6年1月30日 16:00～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

次年度よりデータマーケター学科からデジタルビジネス学科に名称変更を行う。これからのデジタルスキルにAIの活用が必須であるとの指摘をいただく。カリキュラム内にAI活用のための科目を導入し、ビジネスにおけるAI活用の一助となる学生と育てていく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現代社会で幅広く活躍できる人材を育成するにあたり、ICT活用のスキルアップ及びコミュニケーション能力の向上が求められる。そのため、ICTを活用したソリューションビジネスを展開している、コミュニケーションの一環であるプレゼンテーションにおいて実践的かつ専門的な助言や協力をいただくことが可能な企業を選定し、講義していただく。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内での学習内容を実習を通じて企業様に対して提案を行う。企業からの課題をいただき、学生が考えた解決策を提示する。事業内容を問わず、リアルな課題を提示していただくことで、学生が社会に対する提案を考えることができ、ビジネス感覚を養うことができる。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
キャリア実習	就職活動を控え、実社会での経験を積むことで、就業イメージの形成を図る。また、学習内容の実践的活用を行うことができる。	株式会社日産サティオ岡山、ライフデザイン・カバヤ株式会社、マックスバリュ西日本株式会社、ネットヨタ岡山株式会社、株式会社創心 計12社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と他関係者に対する研修内容の共有を行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	Dreamデータマーケター養成講座 アップデート 内容説明会	連携企業等:	一般社団法人 ビッグ データマーケティング 教育推進協会
期間:	R6年2月26日 16:00～17:00	対象:	データマーケター学科 教師
内容	データマーケター養成講座における、新しい学習内容についての研修を実施。		
研修名:	専門学校教員のためのSNSマーケティング指導ポイント解説セミナー	連携企業等:	株式会社サーティファイ
期間:	R6年2月15日 16:00～17:10	対象:	データマーケター学科 教師
内容	SNSマーケティング検定における内容・指導法の確認。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	「志セミナー」赤磐市地域おこし協力隊 戸田洋美さん講演	連携企業等:	赤磐市地域おこし協力隊
期間:	R5年6月14日 10:00-12:00	対象:	教務課職員
内容	第一線で活躍されている方の姿勢や熱い想いに触れることで、自らの人生を切り拓く志を学ぶ。目的のために何が出来るか、周りに協力してもらうために何を伝えるか。そして、諦めない！というマイルールを決して曲げないという講演。		
研修名:	LGBTQ研修	連携企業等:	一般社団法人にじーず岡山
期間:	R6年2月22日 13:00-15:30	対象:	全職員
内容	研修をきっかけに教職員一同、性的マイノリティ(LGBTQ)に関する知識を身につけ、正しい理解を得る。当事者の学生から相談を受けた際の適切な対応を可能とすることを旨とする。		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	TECH+フォーラム データサイエンス 2024 May データ駆動型経営と変革の本質	連携企業等:	株式会社マイナビ TECH+
期間:	R6年5月 27日(月)、28日(火)	対象:	データ分析担当教員
内容:	データ駆動型経営を継続的に実現するためのプロジェクト立ち上げから、データ管理・整備のステップ、組織や人材の育成、そして社内への浸透・活用までを網羅する。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	「志セミナー」株式会社ミアーズ 代表取締役 前村美樹さん講演	連携企業等:	株式会社ミアーズ
期間:	R6年6月13日 9:30-10:30	対象:	教務課職員
内容:	業界をリードする経営者を講師に迎え、自身の経験を踏まえながら、「変化する時代に生き抜く力を身に付ける方法」「自身の力でキャリアをデザインする生き方」について講演いただく。自分自身の人生や社会課題の解決について考える機会とし、一人ひとりのやる気と行動の原点につなげていく。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

担任制、卒業生の社内での評価などは、良い評価をいただいたので、今後も退学防止などの課題に取り組んでいく。特に、教師の力量による差が、退学、就職などすべてに影響するため、その差を解消できるように教員研修を継続する。また、非常勤教師の採用も行い、学生サービスの充実を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
守井 照久	税理士法人創明コンサルティング・ブレイン 代表社員	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
早崎 律貴	スマートスケープ株式会社 VX事業部 開発部 部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生 企業等委員
石崎 公生	株式会社アドボックスフォトグラフィ 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	PTA
山本 涉	医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル 運営企画室 室長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
豊田 東	岡山国際ホテル 総支配人	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
真鍋 洋志	菅公学生服株式会社 取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
山下 秀男	株式会社イケル 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
北牧 涼輔	NAYUG合同会社 代表	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
浦谷 友章	自衛隊香川地方協力本部 東讃地区隊長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
畑 嘉昭	株式会社トスコ 専務取締役	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等 委員
芳原 慶真	コーセーエンジニアリング株式会社 総務部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
平野 彰一	社会福祉法人岡北福祉会 岡北学園 理事長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等 委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/02--new.pdf>

公表時期: 2024/10/1

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対処を行い、説明責任を果たす。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	OICの教育方針、心の推進プロジェクト、プライバシーポリシー(個人情報保護法)
(2) 各学科等の教育	目指す業界・職種、目指す資格と資格取得実績、就職実績、カリキュラ
(3) 教職員	教職員数、教員の組織、教員の専門性、教職員の研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取り組み支援、企業等との連携による取組・キャリア教育への取組
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介、学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況(スクールカウンセラー)
(7) 学生納付金・修学支援	学納金、独自の奨学金制度・学費支援制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	学校評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://oic-ok.ac.jp/>

公表時期: 2024/6/1

授業科目等の概要

工業専門課程 データマーケター学科															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ビジネス実務 I	就職活動のプロセスの理解を深め、具体的な行動を起こせるよう自主性を身につける。	1前期	41	2	○	△		○	○		
2	○			情報リテラシー	情報を扱う上での注意点、関わる法律や、リスクについて理解する。	1前期	26	1	○	△		○	○		
3	○			簿記会計	企業会計に関わる基礎知識を学び、経理事務に役立つ力を身につける（日商簿記3級）。	1前期	81	4	○	△		○	○		
4	○			簿記演習	簿記に関する学習を集中的に行い、日商簿記3級を取得する力を身につける。	1前期	66	4	△	○		○	○		
5	○			Excel実習 I	Excelの基本操作を習得する。	1前期	30	1	△		○	○	○		
6	○			ビジネスリテラシー I	SPI、一般常識等就職活動において必要となる知識について学習する。	1前期	27	1	○	△		○	○		
7	○			マーケティング I	マーケティングの基礎知識を習得し、理論について学習する。	1前期	16	1	○	△		○	○		
8	○			PowerPoint実習	MOS PowerPoint 2019の取得を目指し、PowerPointの基本操作を習得する。	1前期	30	1	△		○	○	○		
9	○			ペン字	履歴書やビジネス文書等で書く文字バランスを身につける。	1前期	15	1	△	○		○		○	
10	○			ビジネス数学	ビジネスで使われる数字を読み解くことができるようにする。	1前期	15	1	△	○		○	○		
11	○			SDGs	SDGsの内容について、企業の実例をもとに学び、自分たちで取り組める内容について提案する力を身につける。	1前期	15	1	○	△		○	○		
12	○			データ分析 I	ビッグデータマーケティング教育推進協会のカリキュラムに基づき、データの読み取り方、活用方法について学ぶ。	1前期	28	1	○	△		○	○		

工業専門課程 データマーケター学科																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
13	○			ビジネス実務Ⅱ	基本的なビジネスマナーについて社会人常識マナー検定を通じて習得する。	1 後 期	72	4	△	○		○	○			
14	○			データ分析Ⅱ	データマーケター養成講座のカリキュラムを履修する。さらに、データを基にした戦略の立て方を学習する。	1 後 期	46	3	○	△		○	○			
15	○			Excel実習Ⅱ	MOS Excel 2019の取得を目指し、Excelの応用操作を習得する。	1 後 期	69	2	△		○	○	○			
16	○			ビジネスリテラシーⅡ	SPI、一般常識等就職活動において必要となる知識について学習する。	1 後 期	20	1	○	△		○	○			
17	○			Word実習	MOS Word 2019の取得を目指し、Wordの基本操作を習得する。	1 後 期	32	1	△		○	○	○			
18	○			マーケティングⅡ	マーケティングの基礎知識を習得し、情報を扱ううえでの考え方を身につける。	1 後 期	24	1	○	△		○	○			
19	○			キャリア実習	就職活動を控え、実社会での経験を積むことで、就業イメージの形成を図る。また、学習内容の実践的活用を行うことができる。	1 後 期	80	2			○	○	○			○
20	○			プレゼンテーション実習Ⅰ	目的に合わせたプレゼンテーションを作成する。また、プレゼンテーション作成における基礎的な考え方を理解する。	1 後 期	35	1			○	○	○			
21	○			ビジネスプランニングⅠ	ビジネスのアイデアを創出し、事業計画の組み立て方を学ぶ。	1 後 期	26	2	△	○		○	○			
22	○			マーケットリサーチ	業界研究を通じて、社会の仕組みを学ぶ。	1 後 期	30	2		○	△	○	○	○		
23	○			データ分析演習Ⅰ	ビジネス統計スペシャリストの取得を目指し、Excelを使用した実務的なデータ分析のスキルを習得する。	1 後 期	58	3	△	○		○	○			
24	○			ビジネス実務Ⅲ	実社会で求められる挨拶や立ち居振る舞い等を実践も踏まえて習得する。	2 前 期	34	2	△	○		○	○			

工業専門課程 データマーケター学科																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
25	○			Office実務	Word、Excel、PowerPointの各Officeソフトの実務的な使用方法について学び、実践的な資料作成のスキルを身につける。	2前期	34	1	△	○	○	○				
26	○			Excel応用	MOS Excel 2019 エキスパート（上級）の取得を目指し、Excelの複雑な機能について、使いこなす力を身につける。	2前期	53	2	△	○	○	○				
27	○			データ分析演習Ⅰ	ビジネス統計スペシャリストの取得を目指し、Excelを使用した実務的なデータ分析のスキルを習得する。	2前期	52	3	△	○	○	○				
28	○			社会調査	データ分析、IT活用に関して、地域の課題を自ら設定し、解決するための調査を行う。問題発見、課題解決の力を身につける。	2前期	65	2		△	○	○	○			
29	○			統計概論	統計に関する基礎知識の習得し、データ活用に関するスキルを身につける。	2前期	59	3	○	△		○	○			
30	○			ビジネス法務Ⅰ	ビジネスに関連する業務上理解しておくべき、基礎的な法律知識を理解する。	2前期	32	2	○	△		○	○			
31	○			プレゼンテーション実習Ⅱ	実践を通じて、説得力のあるプレゼンテーションスキルを身につける。	2前期	33	1	△		○	○	○			
32	○			ビジネスプランニングⅡ	企業連携を通じて、課題解決の考え方、提案手法を身につける。	2前期	56	1		△	○	○			○	
33	○			ITパスポート特講	ITパスポート試験の取得を目指し、コンピュータに関する基礎知識を学習し、ICT機器を使いこなす知識・技術を身につける。	2前期	76	4	△	○		○	○			
34	○			ビジネス実務Ⅳ	社会人としてすぐに働くことを想定したマナー・考え方・一般常識の習得する。	2後期	30	2		○		○	○			
35	○			Access実習	MOS Access 2019の取得を目指して、Accessの基本知識の習得する。	2後期	46	1	△	○		○	○			
36	○			マーケティングⅢ	SNSを活用したマーケティング手法について学習する。	2後期	30	2	○	△		○	○			

工業専門課程 データマーケター学科																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
37	○			ビジネス法務Ⅱ	ビジネスを展開するうえで欠かせない著作権法について知識を身につける。	2後期	28	2	△		○	○	○			
38	○			データ分析演習Ⅱ	ビジネス統計スペシャリストの取得を通じて、Excelを使った高度なデータ分析のスキルを身につける。	2後期	30	2		○		○		○		
39	○			ビジネスプランニングⅢ	ビジネスプランコンテストに向けたアイデアをまとめ、プレゼンテーションを作り、発表できるようになる。	2後期	28	1		○	△	○		○		
40	○			プレゼンテーション実習Ⅲ	セミナー形式の発表を行える。発表対象人数が100名近くを想定したプレゼンテーションを行えるようにする。	2後期	48	1	△		○	○		○		
41	○			卒業研究Ⅰ	データ活用を始めとした課題を個人で設定し、深く研究、プレゼンテーションを通じて、問題発見、課題解決の力を身につける。	2後期	52	3	△	○		○		○		
42	○			卒業研究Ⅱ	一つの作品を共同して作り上げ、成果発表としてプレゼンテーションを行うことができる。	2後期	53	3		○		○		○		
43		○		ペン字上級	1年生で学んだ美しい文字を書くことの大切さをより深く理解する。ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形（行書体も含む）を学ぶ。また、筆ペンの使用も学ぶ。	2後期	15	1	△	○		○				○
44		○		ビジネス英語	ビジネスの場で簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付ける。	2後期	15	1	○	△		○				○
45		○		エクセル上級	Excel2019 (Expertレベル) を活用し、実務で使える資料作成能力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○		○		
46		○		医療事務	医療保険の仕組みを理解し、簡単な医療費の計算を学ぶ。	2後期	15	1	△	○		○		○		
47		○		表現	幼児期から親しんできた言語環境構成の基礎や作品製作技術を学んだり、体験したりすることを通して、自己表現やコミュニケーション力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○		○		
48		○		RPA実習	業務において、ミスをなくし効率的な業務が出来るように、作業自動化ツールを用いた自動化の初歩を学び、プログラムの思考力を養う。	2後期	15	1	△	○		○		○		

工業専門課程 データマーケター学科																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○		情報リテラシー	業務で役立つWindowsの便利な機能や、社会に出てから必要となるセキュリティ知識やAIの活用方法などについて学ぶ。	2後期	15	1	△	○		○	○			
		○		データマーケティング	データを根拠に考え、新しいアイデアを考案するための方策を学ぶ。Excelを活用した分析手法についても修得する。	2後期	15	1	△	○		○	○			
		○		ファイナンスシミュレーション	身近なお金の知識やこれから必要になるお金の知識を学ぶ。投資など資産運用について基本的な知識を身につける。	2後期	15	1	○	△		○	○			
		○		法律リテラシー	実社会で役立つ、民法・行政法等の知識を事例を交えて学ぶ。身近で起こりうる法律問題について結論の方向性が見通せるようになることを目指す。	2後期	15	1	○	△		○	○			
		○		フラワーアレンジメント	ブーケ、ブートニア、ヘッドフラワー、会場装花を製作する。	2後期	15	1	△	○		○			○	
		○		ゲームプログラミング	ゲーム制作を通じてプログラミングを体験することで、順序立てて物事をとらえる考え方を身につける。	2後期	15	1	△	○		○	○			
		○		広告映像	会社の広報SNSなどに必要な写真の撮影、および動画制作を通して、情報や魅力をわかりやすく伝える力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○	○			
		○		ビジュアルデザイン	デザインを使い、伝えたい情報を視覚的に表現する力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○	○			
		○		世界事情	グローバル化の時代、将来国内外問わず、外国人とともに仕事することを念頭に、テーマ別国際事情の講義とグループワークやディスカッションを通して、国際的視野を身につける。	2後期	15	1	△	○		○	○			
合計						43	科目	1736 単位 (単位時間)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：①必修科目及び選択必修選択科目の成績がC評価以上	1学年の学期区分	2期
履修方法：【No. 1-23】1年次履修科目 41単位(882単位時間) 23科目	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。